



# 陸災防 東京都支部会 からのお知らせ

## 1. 陸上貨物運送事業における労働災害発生状況(東京・令和2年1月～12月速報値)

令和2年の陸上貨物運送事業における東京での労働災害は、12月現在の速報値では前年に比較して9.9%減少しており、死亡災害は1件減少して5件となっています。

**死亡災害は、1件減少して5件**  
**死傷災害は、96件減少して873件**

- ★死亡災害は、墜落・転落が2件、崩壊・倒壊、はさまれ・巻き込まれが1件、交通事故が1件となっており、荷役作業での災害が4件を占めていることから、荷役5大災害防止等に取り組んで下さい。
- ★死傷災害は、事故の型をみると、墜落・転落、動作の反動・無理な動作が最も多く、次に転倒、はさまれ・巻き込まれの順となっています。死傷災害は荷役災害が約7割を占めていることから、荷役作業安全ガイドラインに基づき、墜落・転落、荷役運搬機械等による災害防止の徹底を図ってください。

### 令和2年死傷災害の事故の型

死傷災害の事故の型	墜落・転落	動作の反動・無理な動作	転倒	はさまれ・巻き込まれ	交通事故	その他	合計
発生件数(対前年比)	191(-54)	191(+5)	156(-28)	97(-18)	47(+8)	191(-9)	873(-96)
構成比	21.9	21.9	17.9	11.0	5.4	21.9	100

### 令和2年の死亡災害事例

	発生日	職種	年齢	事故の型	発生状況の概要
			経験年数	起因物	
1	6月	貨物自動車運転者	40歳代	崩壊、倒壊	被災者は、荷主先にて荷物を大型トラックへ積み込んでいたところ、積み込んだ荷が倒れ下敷きとなった。
			20年以上 30年未満	機械装置	
2	7月	貨物自動車運転者	70歳代	墜落、転落	被災者は、ターレットトラックを運転中にパレットに乗り上げ、運転席から転落して左側頭部に強打し死亡した。
			30年以上	その他の動力運搬機	
3	9月	フォークリフト運転者	20歳代	墜落、転落	被災者は、フォークリフトを運転し、空パレットの移動作業を行っていたところ、前進操作中にプラットホーム端部からフォークリフトごと転落し、下敷きになり死亡した。
			1年未満	フォークリフト	
4	9月	貨物自動車運転者	30歳代	交通事故(道路)	被災者は、運搬先事業場前の道路上にて駐車中の自車トラックの後方で荷物の積み込み作業を行っていたところ、後方より別のトラックに追突され、自車、相手車に挟まれ死亡した。
			1年以上 5年未満	トラック	
5	12月	貨物自動車運転者	70歳代	はさまれ、巻き込まれ	被災者は、事業場構内においてフォークリフトに轢かれ、死亡した。
			5年以上 10年未満	フォークリフト	

## 2. 陸上貨物運送事業労働災害防止計画の概要(2018年度～2022年度)

### 計画目標

#### 1. 独自目標(陸災防)

- ①前計画期間(平成25年度から平成29年度)中の死亡災害総件数を、本計画期間中(2018年度から2022年度までの5ヵ年)に15%以上減少
- ②健診の完全実施及びその結果に基づく有所見者に対する適切な事後措置の徹底

#### 2.1 3次防の目標(国)

死亡災害: 15%以上減少 死傷災害: 5%以上減少  
死傷災害を死傷年千人率で5%以上減少  
腰痛による死傷災害を死傷年千人率で5%以上減少  
※2017年と比較した2022年までの目標

### 労働災害防止の重点対策

#### 1 荷役関係災害の防止

- ① 荷役5大災害を防止するため、保護帽の着用、作業手順書の作成等の取組を推進しましょう。
- ② 荷役作業5大災害防止チェックリストを活用し、荷役5大災害の防止に努めましょう。
- ③ 高年齢労働者や初めて陸運業に従事する労働者に対して、荷役災害の防止のための安全衛生教育を推進しましょう。
- ④ 荷主等に対し、荷役作業5大災害防止対策チェックリストを活用し5大災害の防止に努めるよう働きかけよう。

#### 2 交通労働災害の防止

- ① 交通労働災害防止のためのガイドラインの周知徹底を図りましょう。
- ② 国土通産省、警察等関係団体と連携し、交通労働災害防止対策を推進しましょう。
- ③ 高年齢者及び初めて陸運業に従事する労働者に対する交通安全教育の徹底を図りましょう。

#### 3 健康確保対策

- ① 定期健康診断の完全実施及びその結果に基づく事後措置の徹底を図りましょう。
- ② 全日本トラック協会が推進する「過労死等計画」との連携により、長時間労働による過労死等の予防を図りましょう。
- ③ スレスチェックの完全実施とその結果に基づく適切な医師による面接指導等メンタルヘルス対策の徹底を図りましょう。
- ④ 総合的腰痛予防対策の効果的進め方を検討しましょう。

#### 4 フォークリフト荷役技能検定

- ① 1級、2級検定試験の計画的な実施と拡充を図ります。
- ② フォークリフトを使用する陸運業のみならず、製造業、商業等幅広い業種への普及促進を図ります。

#### 5 その他の対策

- ① 労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)の国際化に対応した簡易 RIKMS の推進を検討します。
- ② 熱中症を予防するため、WBGT 値の測定とその結果に基づく休憩の確保、水分・塩分の補給等必要な措置を講じましょう
- ③ 「治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の周知啓発に努めます。